



時事評論家 増田俊男

どうなるのかヨーロッパ、そして「歴史の終わり」が迫る！

ギリシャ総選挙で EU(欧州連合)と IMF(国際通貨基金)がギリシャ政府と国民に支援条件として課した緊縮財政その他の規律に真っ向から反対して第二党に躍進した急進左派が規律条件遵守を前提とする内閣への不参加の為、再選挙が余儀なくされようとしている。国民は規律条件遵守反対、(その結果がもたらす)ユーロ離脱反対である。資本主義社会では「あなたのモノは私のモノ、私のモノは私のモノ」という訳にはいかない。またもや私の持論だが「国民の意思が国家の指針や戦略を決める民主主義国家は潰れる運命」である。

「ユーロ体制は出来た時から崩壊の運命にあった！」も私の持論である。

これも何度も述べた例え話だが、「ユーロ体制とは増田(ギリシャ)とタイガー・ウッズ(ドイツ)がハンデ無しで賭けゴルフをするようなもの」。

12年間(12試合)ユーロ体制(ノーハンデ・ゲーム)を続けてきたが増田(ギリシャ)は負け続け、賭け金を払うための借金で首が回らなくなるばかりかもう借金も出来なくなった。ノーハンデ(ユーロ共通通貨)を続ける限りドイツとフランス(2013年に国債デフォルトに陥る)以外の15カ国の国債不履行は時間の問題である。ECB(欧州中央銀行)、IMF(国際通貨基金)やEFSM(欧州金融安定メカニズム)による救済で15カ国の経常収支は黒字になるどころか逆に赤字が増大する。単なる国債履行日(支払い日)の不渡り(デフォルト)を避けるための更なる公的債務の積み増しでしかない。一連の金融支援は15カ国の国債デフォルトを促進しているに過ぎない。

15カ国の経常収支を黒字に出来るチャンスは「増田のハンデを36、タイガー・ウッズのハンデをゼロ」にしなければ無い！つまり No euro(ユーロ共通通貨離脱)以外には No chance(ノーチャンス)である。

これから起こることは未だかつて世界が経験したことのない「救いようがない事態」である。今欧州で起こっている事態は、金融救済で解決出来る事では無く、このままでは欧州経済破綻は確実である。つまり、これから起こることは「欧州の総ての債務を棚上げする為の欧州経済破産宣告」である。

欧州経済破綻とアメリカの金融緩和バブル崩壊による史上最大の「大暴落」で世界の富を吸い上げることが出来る特権をアメリカは持っている。

(私のアドバイスに従えばの話だが、。)

欧州ではいずこも「左翼政党」が台頭している。

このことは欧州破産宣告と同時に起きる「欧州革命」の本質を表している。

弱き者が強き者を、貧困層が富裕層を食う革命である。

時代を制してきた Establishment(成り上がり者たち)の崩壊である。

国民の意識革命と国体の変転に必要なのは、歴史的には国民と国家を「真っ白」にする「戦争」しかないのである。

歴史が西洋の時代(民主主義)からアジアの時代(全体主義)に変転しようとしている「歴史的瞬間」に当たって、生々しく、かつ恐ろしいアメリカの政治(軍事)・経済(大暴落)戦略について「実践経済セミナー」で直言することになっています。

残り1席！増田俊男の『実践経済セミナー』東京！

5月21日(月)に増田俊男の「実践経済セミナー」東京を開催致します。少人数制で約70分×3講義、講義後には着席コースディナー(約120分)を取りながらの増田へ直接質問をしていただきます。お席は残り1席となりましたのでお申込みはお早めに！

お申込み・お問合せは、(株)増田俊男事務所 TEL:03-3955-6686 まで